

説教ドリル、10/11/09

そこで彼らは、断食と祈りをして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した。ふたりは聖霊に遣わされて、セルキヤに下り、そこから舟でキプロスに渡った。(使徒 13:3-4)



みことば: 使徒 4:1-31

テーマ: 聖霊に遣わされて No.8

このドリルでは、みことばを大胆に話すために必要な生き方について学んでいきます。

みことばの観察:

- 1) サンヘドリンの議会の人々が、7節で、ペテロとヨハネにした質問について考えてみましょう。ルカ 20:1-8も参考にして、彼らの言う「**何の權威によって**」また「**だれの名によって**」というの、どういう意味なのか探して下さい。どうして彼らはそんなことを質問してきたのでしょうか。また、それに対して、イエス様の質問の仕方から、あるいは、ペテロとヨハネの答え方から、議会の人々の観点との食い違いについて述べて下さい。
- 2) 結局、ペテロとヨハネは、議会の人々の質問に対して、どのような答えをしたのでしょうか。「**何の權威によって**」また「**だれの名によって**」していると答えたことになるのでしょうか。また、それに対して、議会がどのように協議し、また決定したのかに注目して下さい。16-17節、21節、またルカ 20:5-7節も参考して、彼らの持っていた態度や意識について述べて下さい。
- 3) 24節以下の祈りに注目して下さい。まず、29節の「**彼らの脅かし**」とは、何のことを言っていますか。そして、それらの脅かしに対して、彼らが祈り求めたことは何ですか。また、彼らがそのように祈り求めることができたのは、自分たちが「**天と地と海とその中のすべてのものを造られた方**」とどういった関係にあると考えたからでしょうか。

個人的適用

- 1) この世では、サンヘドリンの議会の人々のような生き方、決定の仕方が普通です。それを、個人のレベルで考えて、どのような態度、生き方のことを言っているのか、あなたのことばで表現して下さい。
- 2) それに比べて、ペテロやヨハネ、また、あのような祈りをしたクリスチャンたちの考え方、生き方、また話し方は、どのように違っていたのでしょうか。彼らのどのような信仰がそのような違いをもたらしていたのでしょうか。
- 3) 31節では、彼らは、何を「**大胆に語りだした**」とありますか。それは、単に、彼らがその時「**聖霊に満たされた**」からだけでしょうか。そもそも、議会のような生き方をする人が、29-30節のように祈ることができるのでしょうか。あなたはこれから何を学びますか、シェアして下さい。

祈り

- 1) 人のことば、世の話しではなく、「**みことば**」をそのまま、大胆に話すということがどういうことか分かるように。
- 2) あなたの属する家庭礼拝やグループが用いられますか。祈って下さい。また実行しないことには、何も起きないです。
- 3) 最近の新来会者、また、あなたが10月の終わりまでに、教会に導きたいと願っている人たちのために祈って下さい。名前をあげて祈ること、その報告もして下さい。